

都内における産業廃棄物の取扱い状況等のまとめ (平成13年度実績) その1

東京都では、産業廃棄物の処理実態を把握するため、「産業廃棄物処理業者の実績報告に係る要綱」に基づき、東京都の産業廃棄物処理業の許可をもつ処理業者から実績報告書の提出をお願いしています。昨年の実績報告書（平成13年度実績）の回収状況は以下のとおりでした。

実績報告の回収状況

報告様式	対象数	回収数	回収率%
産業廃棄物収集運搬業実績報告書	8,173	5,501	67.3
特別管理産業廃棄物収集運搬業実績報告書	541	441	81.5
産業廃棄物処分実績報告書	234	203	86.8
特別管理産業廃棄物処分実績報告書	20	18	90.0
合計	8,968	6,163	68.7

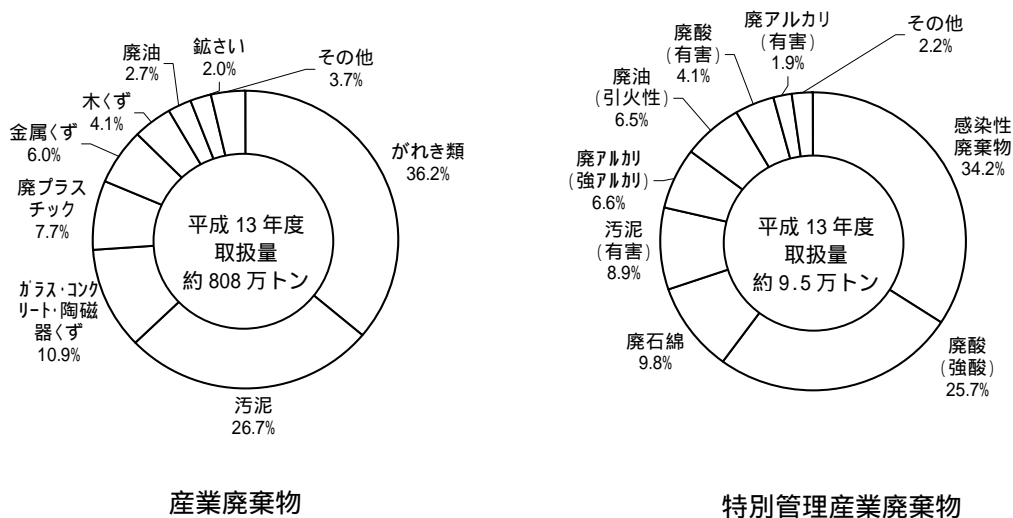
実績報告書の集計結果の概要

(1) 都内の産業廃棄物の取扱い状況

収集運搬の実績

東京都の許可をもつ収集運搬業者の都内での取扱量は、産業廃棄物が約808万トン、特別管理産業廃棄物が約9.5万トンでした。

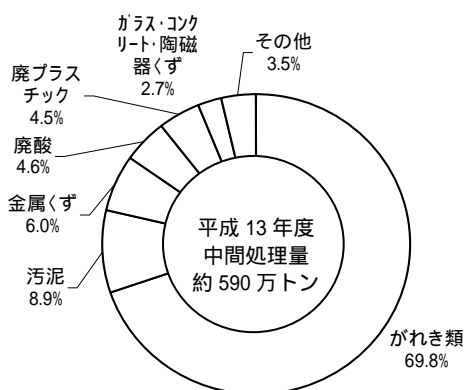
産業廃棄物ではがれき類、汚泥、ガラス・コンクリート・陶磁器くずなど、おもに建設系廃棄物の取扱いが多く、特別管理産業廃棄物では感染性廃棄物、廃酸（pH2.0以下）、廃石綿などの取扱いが多くなっています。



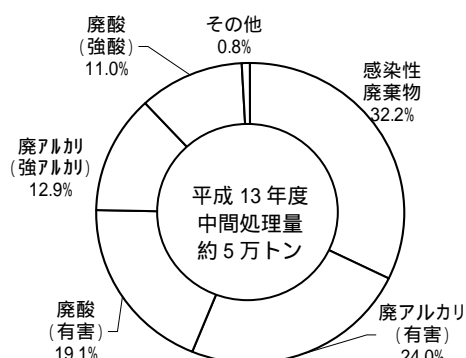
中間処理の実績

都内の中間処理業者による中間処理量は、産業廃棄物が約 590 万トン、特別管理産業廃棄物が約 5 万トンでした。

産業廃棄物ではがれき類の処理が多く、特別管理産業廃棄物では感染性廃棄物、廃アルカリ、廃酸などの処理が多くなっています。



産業廃棄物

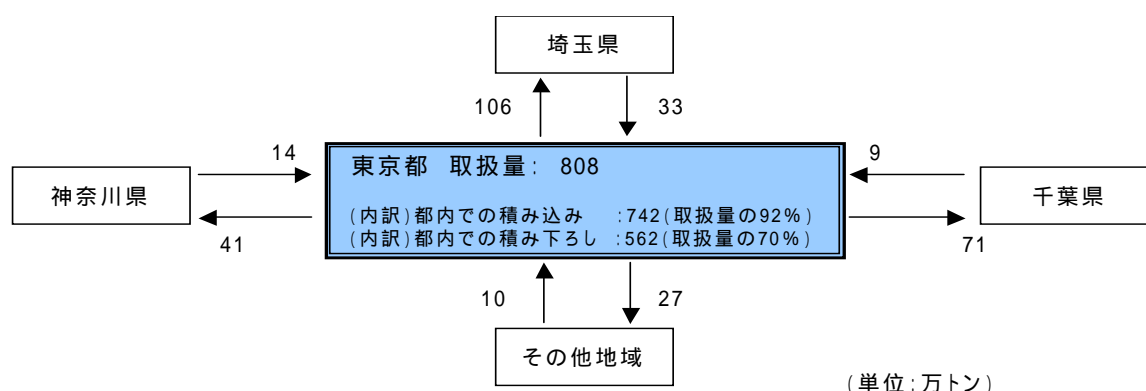


特別管理産業廃棄物

(2) 産業廃棄物の広域移動の状況 (収集運搬実績より)

産業廃棄物の積み込み地域は、都内が取扱量全体の 92% を占め、残りの 8% は関東地方を中心とした各県から発生したのとなっています。

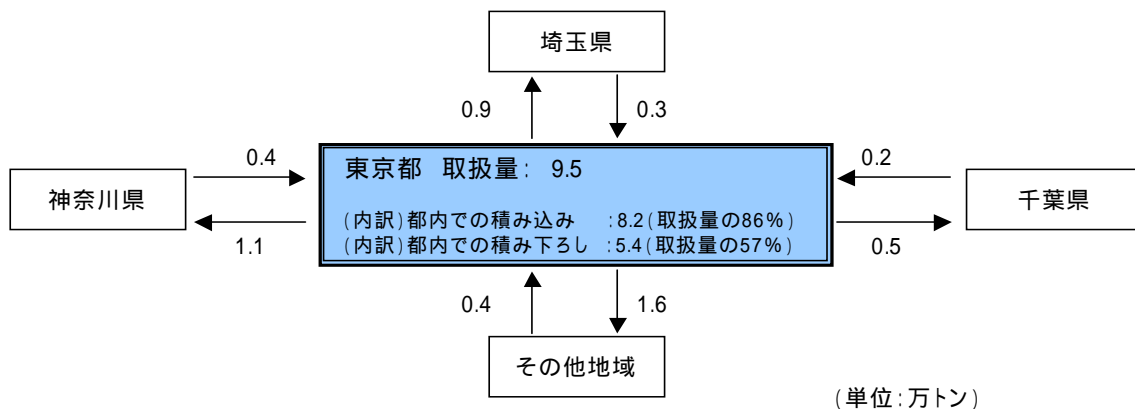
これらの産業廃棄物の運搬先 (保管積替業者又は処分業者) は、都内で積み降ろしているものが 70%、残りの 30% は都外へ運搬されています。東京都以外の運搬地域は埼玉県、千葉県、神奈川県など関東地方が多くなっていますが、関東地方以外でも少量ながら広範囲で処分されています。



産業廃棄物の広域移動状況

特別管理産業廃棄物の移動状況も産業廃棄物と同様な傾向を示しており、都内での積み込みが取扱量全体の86%、都外での積み込みが14%となっています。

特別管理産業廃棄物の運搬先（保管積替業者又は処分業者）は、都内で積み降ろししているものが57%で、残りの43%は都外へ運搬されています。



特別管理産業廃棄物の広域移動状況